

シルバー だより

第70号

発行日 令和6年10月1日
発行者 公益社団法人
宇都宮市シルバー人材センター
事務局 宇都宮市中央1-1-15
宇都宮市総合福祉センター6階
電話 028-633-5300
E-mail utsunomiya@sjc.ne.jp



令和5年度 上河内地域奉仕活動



令和5年度 河内地域奉仕活動

センターでは、毎年10月を『センター事業普及啓発月間』とし、上河内・河内地域で奉仕活動を行っております。

毎年、多くの会員の皆さまにご参加いただいております。昨年も、合計71名の皆さまにご協力いただきました。参加していただきました皆さま、誠にありがとうございました。



目次

○定時総会	1
○安全標語表彰式・駐輪場	2
○会員の声	3
○就業現場訪問	4
○事務局だより	5



センターホームページ



SJC_UTUNOMIYA
センターインスタグラム

令和6年度 第45回定時総会報告

令和6年6月14日（金）宇都宮市総合福祉センター大会議室において、第45回定時総会が開催されました。開会に先立ち、永年、当センター役員としてご尽力いただき、今回の定時総会をもって退任される役員の方々、及び、他の模範となる功績のあった正会員の方々の表彰が行われました。

その後開会となり、石川元信理事長からは、「当センターでは、高齢者の社会参加、生きがいづくりをさらに推進するため、インターネットを介した受注や入会手続きの実施など、業務のデジタル化に取り組んでいる。これまで以上に社会的な期待に応え、信頼されるセンターとして躍進していくために、会員の皆さまにはより一層のご理解とご協力をお願いしたい。」との挨拶がありました。

会員の杉江房夫さんが議長に選出され、令和5年度の事業報告、収支補正予算、及び、令和6年度の事業計画、予算についての報告の他、議案審議を行いました。総会で承認された議案は次のとおりです。

【議案第1号】令和5年度決算について

【議案第2号】役員を選任について



杉江房夫議長



令和6年度 表彰者（敬称略）

【役員表彰】

武田 親樹	深澤 雄一
山崎 登	三森 由美

【正会員表彰】

高橋 英夫	大内 弘子
根本 サイ	大関 富美
武田 栄	高田 廣子



表彰式の様子（上段左から）武田副理事長、石川理事長、山崎さん、高田さん、大内さん、三森さん

役員交代（敬称略）

【退任】（令和6年6月14日付） 武田 親樹 深澤 雄一
山崎 登 三森 由美

新役員（任期：令和6年6月～令和8年度定時総会終結時）

再任	理事長	石川 元信	副理事長	神山 俊夫	専務理事	橋本 敦生
	理事	小島 泰久	理事	佐藤 清	理事	高橋 京子
	理事	渡 宏一	理事	富 隆史	理事	坂寄 秀夫
	理事	卜部 弘子	理事	大貫 祐一	理事	佐藤 好子
	理事	大貫 健二	監事	小池 正則	監事	袖野 守康
新任	理事	長谷 眞	理事	小宅 哲哉	理事	北條 昌子
	理事	高瀬 一宏				

安全標語表彰式



令和6年5月20日（月）、第1回安全委員会において、安全標語の表彰式が行われました。安全標語は、会員の皆さまが就業中にハッとした経験に基づくものや、普段安全について意識していることなどをもとに、毎回たくさんの作品をご応募いただいております。第4回目となった今回も、安全・健康を意識した素晴らしい作品が寄せられました。

表彰式の様子

（上段左から）橋本事務局長、武田副理事長、岩泉さん、竹澤さん、石川理事長、若林さん、高澤さん、山我さん、増渕さん、中本さん

✿ 最優秀作品

「**気を抜くな！ 気配り 目配り 思いやり**」 (山我 誠一さん)

✿ 入選作品

「**慣れが生む 魔の一瞬が 事故のもと**」 (増渕 順子さん)

「**無理しない！ 気持ちはヤング でもシルバー**」 (山我 誠一さん)

「**安全第一 焦らず 省かず 気を抜かず**」 (中本 ミツエさん)

「**安全は 声かけ合いの 手順から**」 (若林 時男さん)

「**不注意と 背中合わせの 作業事故**」 (高澤 満さん)

「**今日もまた 笑顔で帰る 我が家かな**」 (竹澤 美好さん)

「**作業前の注意点 みんなで声掛け 再確認**」 (大島 俊二さん)

「**報連相 声かけあって 事故ゼロに!**」 (岩泉 徳栄さん)

これらの作品は、会員の皆さまの安全就業促進のため、毎月就業案内に掲載しています。



全国シルバー人材センター
マスコットキャラクター
「チエブクロー」

駐輪場キャッシュレス決済の導入

ここ数年における電子決済の利用普及の拡大により、交通系ICカードやクレジットカードなど、電子決済の需要に対する対応が急速に求められています。市営駐輪場では、5月からウェブ上での満車・空車情報が閲覧できるようになり、電子化が進んでいます。

7月からは、市営駐輪場8か所で、これまでの現金での支払い方法に加え、キャッシュレス決済に対応したレジスターを導入し、順次運用を開始しました。

レジスターの操作については、就業する方のほとんどが初めてであるため、会員専用のマニュアルを作成し、研修会を開催するなど、試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいます。

今後も、利用者の利便性向上のため、会員の皆さまと職員が一丸となって取り組んでまいります。



導入されたレジスター（上）と、
キャッシュレス決済用の端末（下）

会員の声

生き生きと活躍する会員の方々をご紹介します

『フクロウ隊で活動して』 平石地区 根岸 正臣

フクロウ隊に入って18年になります。フクロウ隊は、主に、市でホームサポート対象者として認定された、高齢者と障害のある方からのご依頼で、枝おろしや除草などを行う組織として発足しました。『フクロウは森の番人』と言われるように、隊員は認定された方の見守りや手助けの精神で就業しており、現在、約40名の会員が就業しています。仕事は4人1組で行うため、仲間同士、いつも和気あいあいと楽しく、休憩時間は会話も弾むので、ボケ防止にもなっているようです。



当初は、ホームサポート認定者の方からのご依頼が主でしたが、最近では一般の方からの依頼も非常に多くなってきています。また、当初は鎌を使っての手作業がほとんどでしたが、最近は刈払機での作業が多くなってきています。

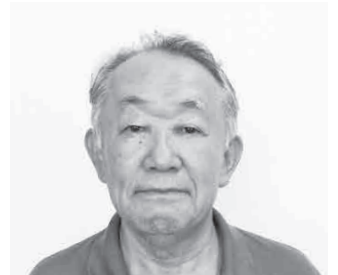
仕事の件数は大変多いのですが、最近が高齢化により、隊員の数が減少し、件数をこなすのに苦労しています。体力、気力が少しでも残っている方、是非、フクロウ隊と一緒に楽しく仕事をしませんか。お待ちしております。

『シルバー会員になって』 河内地区 佐藤 幸雄

退職後1年半ほど自宅でブラブラしていましたが、近所の方からシルバー人材センターに誘われ、気楽な気持ちで会員になることにしました。

入会後すぐに、受付及び管理業務の仕事があるとのことをお話をいただき、現在まで勤務させていただいております。

仕事も、先輩方が親切丁寧に指導してくださったおかげですぐに慣れ、家でブラブラしているよりも、外に出てたくさんの方と話をすることができ、充実した毎日を過ごしております。現在の勤務は6人での交代制で、週に2～3日程度の出勤であり、70歳を過ぎても仕事としては、私にとってちょうど良い勤務だと思っております。



職場仲間はそれぞれ違った社会経験をされた方々で、経験談などは勉強にもなり、日々楽しく勤務しています。また、来館される利用者の方は定期的に利用される方が多く、すぐに顔見知りになり、天気の話や健康の話、孫の話など、いろいろな会話をしています。こうした社会とのつながりを持たせていただいていることに、とても感謝しています。

最後に、これからは高齢者がますます増加していくことは確実でありますので、シルバー人材センターの仕事を知らない方のために、数多くの方に説明し、会員の輪を増やしていけたらと思っております。

『奇跡の入会』 雀宮地区 間板 千代子

植木班の班長をしていた方からお誘いを受け、令和2年の4月からシルバー人材センターの植木班として仕事を始めました。当時は、植木班に女性は一人もおらず、それはそれは不安と心細さでいっぱいでしたが、『大丈夫だから、とにかくやってみよう。』という班長さんの言葉を信じて始めました。チームの方々のご指導と励ましを受けながらとにかく頑張り、まだまだ完全ではありませんが、一日一日と日々を重ねるごとに、不安も少しずつクリアすることができました。



お客様とのコミュニケーションが一番難しいですが、明るい挨拶や笑顔を心掛け、お客様に寄り添いながら、お客様に信頼していただくことを目標に、毎日汗を流しています。植木の剪定は、技術や感性、体力等が求められる仕事なので、大変ではありますが、とてもやりがいがあります。

この、伸びきって樹形が崩れた一本の木をどのように美しく変身させようか、と日々奮闘しております。女性だからといって植木班での就業を諦めず、これからは、女性の方にも是非植木班にチャレンジしてみただけければと思います。まだまだ未熟ではありますが、私も、この仕事に誇りを持って精進していきたいと思っております。

就業現場訪問

広い敷地内に、とちのきファミリーランド（遊園地）や、様々なスポーツ施設を有する栃木県総合運動公園。今回はその中で、主に陸上競技場、エイジェックススタジアム（本球場）、テニスコート、サッカー場などの施設管理を行う現場でお話を伺いました。

Q 就業内容を教えてください。

A 夕方から夜にかけての就業で、テニスコートのナイター貸出受付や、当日利用のあった施設全体の点検、消灯、施錠、及び戸締りを行っています。その他、貸出に関する電話対応や忘れ物の確認も業務の一つです。

Q 接客や事務作業、広い敷地内のさまざまな施設の施錠など、業務内容が多岐に渡りますが、就業中はどのようなことを心掛けていますか？

A とにかく、安全第一を心掛けています。施設内の見回りや施錠を行うのは夜間のため、必ずヘルメットと蛍光安全ベストを着用しています。貸出受付等の接客業務では、丁寧な言葉遣いを意識し、金銭授受の間違いが無いよう、いつも注意を払っています。

また、当日の予約確認や書類と釣り銭の準備については、その日就業のペアの方と確認し合いながら、利用者が来る前にできることをすべてやっておくようにするなど、業務の進め方を工夫しています。

大変なこともあります。緑が多く、スポーツを身近に感じられる環境で就業するのはとても楽しいですよ。

『一緒に働く仲間の中には、もともとスポーツ好きの方も多いんですよ。』とのこと。7月に行われた全国高校野球選手権栃木大会では、試合中の大変な熱気を、間近で感じることができたそうです。お話を伺った吉野さんと坂寄さんは、『広い施設内をたくさん歩くことで、自然と健康意識が高まることも、こちらで就業して良かったことの一つです。』とおっしゃっていました。

楽しみながら、爽やかに、そして生き生きと就業されているお二人の姿が印象的でした。

お忙しい中、いろいろなお話をお聞かせいただきありがとうございました！



お二人のヘルメット
右は帽子とヘルメットが
一体となったタイプ



(左から) 坂寄さん 吉野さん



広い敷地内を歩き、消灯や
施錠確認のため、各施設を
くまなく見回ります。